

製品名: CD151 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08219**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	CD151 TSPAN24
別名	CD151 antigen (GP27; Membrane glycoprotein SFA-1; Platelet-endothelial tetraspan antigen 3; PETA-3; Tetraspanin-24; Tspan-24; CD antigen CD151)
遺伝子 ID	977.0
SwissProt ID	P48509
免疫原	アミノ酸配列範囲: 91-140 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

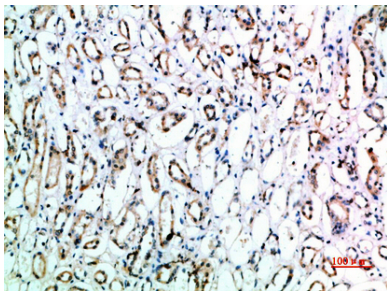
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、膜貫通型 4 スーパーファミリー（テトラスパニンファミリーとも呼ばれる）のメン

バーです。これらのメンバーのほとんどは、4つの疎水性ドメインの存在を特徴とする細胞表面タンパク質です。これらのタンパク質は、細胞の発達、活性化、増殖、および運動性の調節に関与するシグナル伝達を媒介します。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、インテグリンや他の膜貫通型4スーパーファミリータンパク質と複合体を形成することが知られている細胞表面糖タンパク質です。細胞接着などの細胞プロセスに関与し、インテグリンの輸送や機能を制御する可能性があります。このタンパク質は、細胞運動性、癌細胞の浸潤、および転移を促進します。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが記載されています。 [RefSeq 提供、2008年7月], 疾患: CD151の欠損は、脛前表皮水疱症および難聴を伴う腎症 (NPEBD) の原因である[MIM:609057]。NPEBDは、遺伝性腎炎、表皮水疱症、難聴、およびβサラセミア軽症との関連を特徴とする。 ,機能: 腎臓の糸球体基底膜と尿管基底膜の適切な形成に必須である。 ,誘導: HTLV-1による。 ,オンライン情報: 血液型抗原遺伝子変異データベース,多型: CD151は、RAPH血液型システムのMER2=RAPH1抗原を定義する。白人の92%はMER2陽性であり、8%はMER2陰性であることが明らかである。 ,類似性: テトラスパニン (TM4SF) ファミリーに属する。 ,サブユニット: α3β1、α5β1、α3β1、α6β4インテグリン、CD9、CD181と相互作用する。 ,組織特異性: 血管内皮細胞や表皮を含む様々な組織に発現する。赤血球系細胞に発現し、成熟赤血球よりも赤血球前駆細胞で高い発現レベルを示す。 ,

研究分野

画像データ



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析、抗体は1:200に希釈された